

## 4月15日 生協しまね「新入職員研修」を行いました

定例になっている「生協しまね新入職員研修」、22年度は4月15日、地域つながりセンター上階の会議室（JAしまね津田支店内）をお借りして実施しました。新卒の若い皆さんからは、たくさん元気を頂きました。

研修内容は、センターを拠点として行われている「地域連携の各事業」についてです。生協しまねが、地域の中で、どのような役割を担っているか、具体的にお話ししました。

- ① フードバンクしまね “あつたか元気便”
- ② なないろ食堂（子ども食堂）
- ③ しまねのおたがいさま                           ・・・などについてです。

とくに「おたがいさま」の活動には深い関心を寄せてくださいました。そのうち、おたがいさまの各事務所にお声をかけてくださるかもしれませんね。

現在、新入職員の皆さんには、それぞれ、各支所に配属され、安全運転に気をつけながら緊張の毎日を過ごしておられる事と思います。瑞々しい感性のまま、社会への第一歩を踏み出した職員の皆さん、新しい世界に慣れるまで、先輩たちを大いに頼り、元気に頑張れ！（地域つながりセンタースタッフ一同）

感想の一部です。いっぱいあって紹介しきれません・・・

組合員さんが何かお困りのことがあると耳にしたら、「おたがいさま」を紹介したい。

利用された方が笑顔になってしまい。自分もおたがいさまの応援者としてやってみたい！

利用だけでなく、そこから生まれる「おたがいさま」のつながりが地域の交流につながって元気や優しさが生まれる…

なないろ食堂では、子どもの貧困だけに目を向けるのではなく、支援のつながりを通して地域の人々との新たなコミュニティを創っているところが素晴らしいと思いました。

(フードバンクの話から)  
都会と地方の貧困がこれまで変わらないことに驚きを受けました。自治体だけでは受けきれない小さな案件にも対応できる事がすばらしいと思った。

生協しまねの説明会でセンターの話を聞いていましたが、実際に聞いてみるといかに地域に密着しているかが良くわかった。

機会があれば、私も参加し、島根の地域の一部になりたいと思った。

子どもが困っていることを支える、助けるのは島根県民の温かさの故だと。生協職員として扱われる機会に感謝しています。

